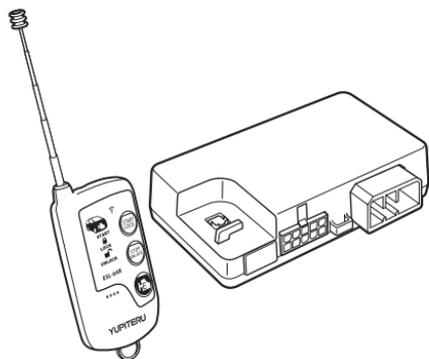


ESL-64R

取扱説明書 / 保証書



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

目次

はじめに	ご使用前に(安全上のご注意)-----	2
	安全機能について-----	5
	各部の名称とはたらき-----	6
	リモコンの上手な使いかた-----	7
操作する	エンジンを始動させる-----	8
	エンジンを停止させる-----	10
	エンジンの状態を確認する-----	11
	アイドリング時間を延長する-----	12
	車に乗るときは-----	12
設定する	ドアをロック/アンロックする (オプション対応)-----	13
	エンジンスターターの設定-----	14
	セル時間の設定/アイドリング時間の設定/クロー時間の設定/ターボタイマー機能のON/OFF設定/セルモーター停止タイミング検出方法選択/始動判定方法選択/IG設定/リトライ設定/エンジンスターター特殊制御の設定/オールリセット	
	ターボタイマー機能について-----	19
	車内で「ビピッ ビピッ」音が鳴っている場合--	20
その他	リモコンの登録方法-----	22
	電池交換のしかた-----	23
	スリープ機能について-----	24
	始動エラー音について-----	24
	セット内容-----	25
	仕様-----	25
	こんなときは-----	26
	アフターサービスについて-----	27
保証書-----	裏表紙	

警告

取り付けには、専門知識が必要です。

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様に依頼ください。

- 本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行っておりません。
- お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

取り付け可能な車

- 車種別専用ハーネスの設定がある車
 - オートマチック(AT)車
 - 12V車で、⊖アースの車
- ※上記の3つの条件を満たす車以外ではご使用いただけません。
- マニュアル車・外国車には取り付けできません。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

絵表示について

- △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警告 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡したり重傷を負う可能性があります。

- ⚠ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する。思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- ⚠ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する。エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- ⊘ 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない。発火の恐れがあります。
- ⊘ 暖機運転の直後にエンジン点検などを行わない。火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過したあと、十分注意して行ってください。
- ⊘ 一般公道での使用や車のボディカバーをかけたまま使用しない。罰則や発火、排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- ⚠ 煙がでている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない。発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。
- ⊘ 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない。排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- ⚠ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- ⊘ お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない。室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。
- ⚠ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する。お子様が勝手にエンジンを始動させ、事故の原因となります。
- ⊘ サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない。感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⚠警告 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡したり重傷を負う可能性があります。

- ⚠ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください。
 - ボンネットを開けるときの
 - 整備や車検などで車を第三者に預けるときの
 - 本機の使用方法を理解されていない方が運転するとき
 - 長期間、車を使用しないとき
- ⊘ 本機でエンジンを始動した際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない。エンジンスターターの安全機能がはたらかず、思わぬ事故につながる場合があります。
- ⚠ 車輻の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する
- ⊘ むやみに操作ボタンを押さない。リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります。
- ⊘ マフラーが雪で覆われるような降雪時に使用しない。排気ガスが車内に充満して大変危険です。
- ⚠ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する。本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルモーターの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置がはたらかないまま動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

⚠注意 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

- ⚠ あらかじめ駐車時には以下のことを守る。
 - ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また凍結した場合、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
 - すべての窓を閉めてください。
 - すべてのドアを施錠(ロック状態)してください。
 - 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。
- ⚠ 地域により車輻の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条件等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください

本機を取り付けたことによる、車輻や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

使用上のご注意

- 車から降りる際にワイパーなどの電源をOFFにしてください。ワイパーの凍結などで過大な負荷がかかると、車種別専用ハーネスのヒューズが切れたり、車を故障させることがあります。
- 整備や車検などで、第三者に車を預けるときは、不意のエンジン始動を避けるため、リモコンの電池を抜いてください。
- 国産車の多くは、走行中（エンジン始動中）、安全のために純正キーレスエントリーやスマートキーなどをキャンセルする仕様となっております。

- 本機でのアイドルリング中、純正キーレスなどの操作が無効となる場合、ドアの鍵穴や本機のドアロック機能（オプション対応）でロック/アンロックしてください。
- オートクルーズシステムや電動チルトステアリング、ドライビングポジションシステムの装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- 車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機のエンジン始動ができにくくなります。

リモコンについて

- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お客様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - ・ 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - ・ 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ・ ホコリや油煙の多い場所。
 - ・ 非常に温度の低い場所。
- リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いをしないでください。
- 電池が消耗するとリモコン操作ができなくなりますので、車のキーは必ず携帯してください。
- キーでエンジンをかけているときは、リモコンからの操作は無効になります。

本機について

- コンライトキャンセル機能が使用できないお車の場合
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動した場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあと消灯しません。
- ※ 暗くなると、自動的にライトが点灯するシステムです。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、通信範囲が狭くなる場合があります。
- ドアロック（施錠）/アンロック（解錠）機能について（オプション対応）
アンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアロック・アンロックができない場合があります。本機でエンジンを始動する直前（セルが回っている間）はリモコン操作を受け付けません。

電波法について

- リモコン裏側やジャンクションユニットの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション検出

シフトレバーがパーキング（P）またはニュートラル（N）ポジション以外のときは、本機によるエンジンの始動やターボタイマー機能は動作しません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだだけの状態（ONポジションまで回さない状態）でシフトチェンジすると、エンジンが停止します。



※ 一部の車種では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング（P）の位置以外ではエンジンを始動できません。

■ コンライトキャンセル機能

（別売の A-60 を使用して、車輻に施工済みの場合）

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドルリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※ 一部の車種では、コンライトキャンセル機能が正常にはたらかない場合があります。

■ ドア検出

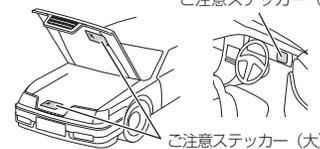
（別売の A-60 を使用して、車輻に施工済みの場合）

エンジンスターター動作中にドアを開けると、エンジンが停止します。

※ アフターアイドルリング中は機能しません。

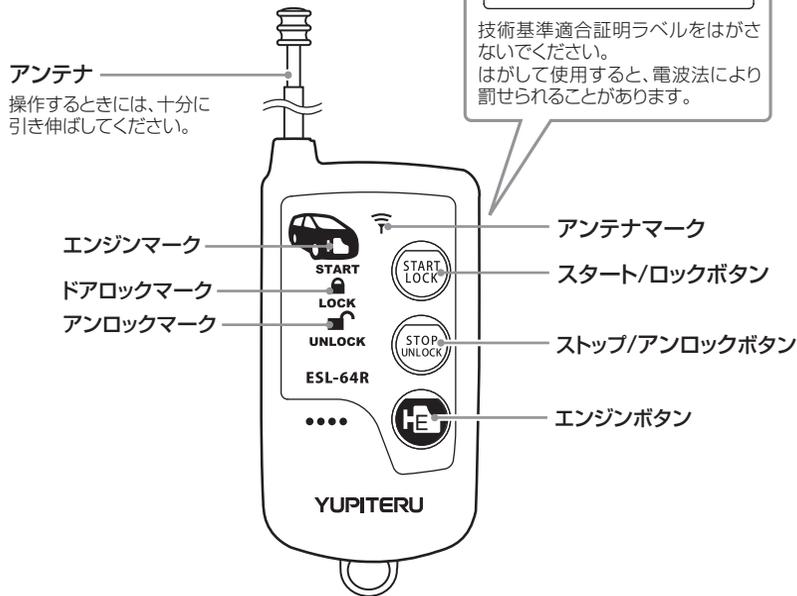
警告

- ・ 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いてください。
- ・ 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー（大）」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー（小）」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



各部の名称とはたらき

リモコン



技術基準適合証明ラベル



技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。
はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

●リモコンの表示ついて

リモコンのエンジン・スタート/ロック・ストップ/アンロックボタンのいずれかを押し、アンテナマークが3秒間点滅します。また、電波を受信した場合は、動作に応じたマークが約1秒間点灯(点滅)して、お知らせします。

ポイント

各マークは点灯(点滅)後、バッテリーセーブのため消灯します。

リモコンの上手な使いかた

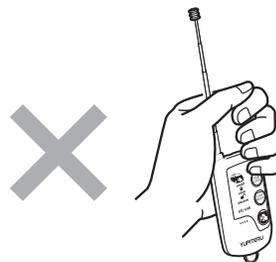
警告

車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。リモコンの電波は、周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

※電波が飛びにくくなります。



■リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。



■通信が正常に行われずにエラー音『ピー』が鳴ってしまう場合は以下のことをお試しください。改善される場合があります。

- 車輛(ジャンクションユニット)とリモコンの間に障害物が無くなるような方向に車を駐車してください。
- リモコンの右側面を車輛(ジャンクションユニット)に向けて操作してください。通信距離が伸びることがあります。



●通信距離の目安

最大：2500m(見通し)
ビル街/住宅街：
約180m(遮蔽物あり)～1000m(見通し)

ご注意

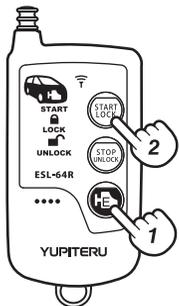
ご注意

- アンサーバック信号を受信するまでは、アンテナを収納しないでください。アンテナを収納すると、正常にアンサーバック信号を受信できません。
- リモコンにチェーンやカギ、金属アクセサリなどを付けていると、通信エラーが発生することがあります。

- 実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。電波の届かない地下や屋内では表記の通信距離より短くなる場合があります。
- ファンモーターなどのノイズの大きな車では、エンジン始動させるときに比べ、停止させるときの方が短くなる場合があります。

はじめに

エンジンを始動させる



注意

降雪時や寒冷地で車を駐車するときには…

車を駐車するときはワイパーなどの電源を OFF にしてください。

本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負荷がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。

ポイント

本機リモコン操作(エンジンの始動、停止、状態確認、アイドリング時間の延長、ドアのロック/アンロック)をしたときに、ジャンクションユニットからの信号を受信できないと、アンテナマークが点滅してリモコンからエラー音「ピー」が鳴ります。



このような場合は、場所を変えてもう一度リモコン操作を行ってください。

メモ

車のバッテリーの性能が低下しているときは、エンジンキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動がだに小さくなります。

リモコンの操作

1 操作確認音「ピッ」が鳴るまで(エンジン)ボタンを押す
アンテナマークが点滅します。



2 アンテナマークが点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで(スタート/ロック)ボタンを押す
アンテナマークが点灯し、信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。



ジャンクションユニットからの信号を受信すると

『ソファミレド』と鳴り、アンテナマークが点滅します。

※ 電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります



エンジンの始動を行います。



エンジンが始動すると

エンジン始動を検出して、始動確認の信号をリモコンに送ります。

※ 別売のハザード制御：A-18SF を接続していると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、エンジンマークが緑色で点灯して、エンジン始動をお知らせします。

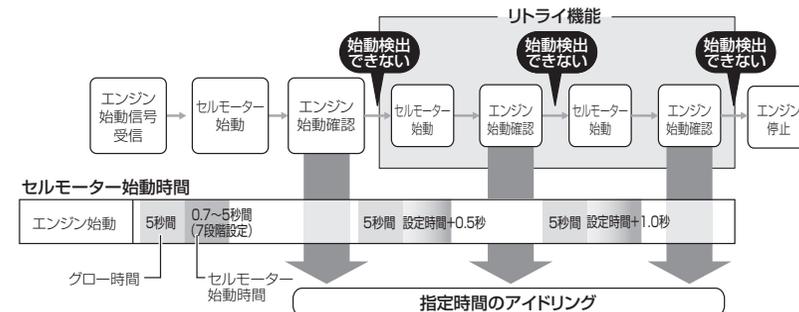


アイドリング中は「ピッピッピッ」とジャンクションユニットから連続して鳴り、本機動作により、アイドリングしていることをお知らせします。

- エンジンが始動できないと、リトライ機能がはたらきます。(18 ページ「リトライ機能」)

リトライ機能とセルモーター始動時間について

エンジンが始動できなかったときに、再始動(リトライ)を2回行います。(18 ページ「リトライ設定」)



※ オルタネータ線を接続した場合、エンジンの始動を検出すると、セルモーターを停止します。
※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動(リトライ)を繰り返す場合があります。このような場合は、始動判定方法選択を『特殊判定』に変更してください。(18 ページ「始動判定方法選択」)

※ 始動判定方法選択(18 ページ)を『特殊判定』に変更しても、再始動を繰り返す場合は、オルタネータ線(白線)の接続が必要です。

※ 安全機能によりエンジン始動を停止した場合は、再始動(リトライ)は行いません。

メモ

安全機能とは…シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジションになっていて、エンジンスターターによるエンジン始動が可能な状態であることを確認する機能です。(5 ページ「P・ポジション検出」)

リトライ動作を行うと

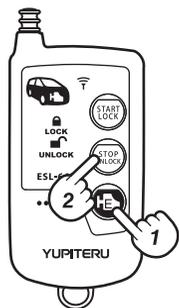
リモコンから受信音「ピーピーピー」が鳴り、エンジンマークが緑色と橙色で交互に点滅し、リトライ動作をお知らせします。



警告

車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。

エンジンを停止させる



リモコンの操作

1 操作確認音「ピッ」が鳴るまで (ENGINE) ボタンを押す

アンテナマークが点滅します。



2 アンテナマークが点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで (STOP/アンロック) ボタンを押す

アンテナマークが点灯し、信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、エンジンを停止しリモコンに信号を送り返します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

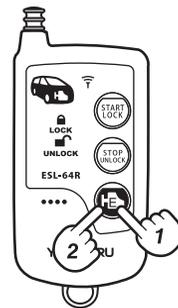
受信音「ソミレドレ」が鳴り、エンジンマークが橙色で点滅して、エンジンを停止したことをお知らせします。



エンジンの状態を確認する

エンジンの始動 / 停止状態の確認ができます。

ご注意 キーでエンジンを始動した場合は確認できません。



リモコンの操作

1 操作確認音「ピッ」が鳴るまで (ENGINE) ボタンを押す

アンテナマークが点滅します。



2 アンテナマークが点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで (ENGINE) ボタンを押す

アンテナマークが点灯します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

メモ

●アイドリング時間延長後は



※ 受信音『ドレミファソファミレドピッ』が鳴り、エンジンマークが緑色で1秒間点灯後、2回点滅します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

■エンジン始動中は
受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、エンジンマークが緑色で点灯します。



別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが3回点滅します。

■エンジン停止中は
受信音『ソミレドレ』が鳴り、エンジンマークが橙色で点灯します。



メモ

エンジンが始動できなかった場合、上記の操作 (ENGINE) ボタンの2度押し) で始動エラー音を確認することができます。
(● 24ページ「始動エラー音について」)

アイドリング時間を延長する

エンジンスターターアイドリング中にエンジン始動操作でアイドリング設定時間に対して、10分のアイドリング延長ができます。



リモコンの操作

- 操作確認音「ビッ」が鳴るまで(エンジン)ボタンを押す
アンテナマークが点滅します。
- アンテナマークが点滅中(約3秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまで(START/ロック)ボタンを押す
アンテナマークが点灯し、信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送ります。

ご注意

次のような場合は、アイドリング時間を延長することができません。

- アイドリング時間設定を30分にしている場合
- アイドリング時間延長操作を1度行っている場合

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音「ドレミファンソファミレド ビッ」が鳴り、エンジンマークが緑色で1秒間点灯後、2回点滅し、アイドリング時間の延長をお知らせします。



車に乗るときは

安全のため、いったんエンジンを停止させたあと、必ず車輦本来の操作(キー操作など)でエンジンを始動してください。

走行する際

- リモコン操作でエンジンを停止させる
(10ページ「エンジンを停止させる」)
- 車輦本来の操作(キー操作など)で、エンジンを始動させる
走行できます。



ドアをロック/アンロックする(オプション対応)

ご注意 別売のキーレスエントリー：A-17SF等の接続が必要です。



ドアのロック(施錠)操作

- 操作確認音「ビッ」が鳴るまで(START/ロック)ボタンを押す
アンテナマークが点滅します。
- アンテナマークが点滅中(約3秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでもう1度(START/ロック)ボタンを押す
アンテナマークが点灯し、信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをロックしてリモコンに信号を送り返します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音「ソファミレド」が鳴り、ドアロックマークが緑色で点灯して、ドアのロック(施錠)をお知らせします。



ドアがロック(施錠)されます。

メモ

ハザード制御線(別売 A-18SF)を接続すると、施錠と同時にハザードランプを1回点滅させることができます。

ドアのアンロック(解錠)操作

- 操作確認音「ビッ」が鳴るまで(STOP/アンロック)ボタンを押す
アンテナマークが点滅します。
- アンテナマークが点滅中(約3秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでもう1度(STOP/アンロック)ボタンを押す
アンテナマークが点灯し、信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをアンロックしてリモコンに信号を送り返します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音「ソファミレド」が鳴り、アンロックマークが赤色で点灯して、ドアのアンロック(解錠)をお知らせします。



ドアがアンロック(解錠)されます。

メモ

ハザード制御線(別売 A-18SF)を接続すると、解錠と同時にハザードランプを2回点滅させることができます。

注意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
 - 半ドア状態でドアロック操作をした場合は、ドアを完全にロックできない場合があります。
 - 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
 - 本機は、オートリロック機能を搭載していませんので、リモコンでアンロックした場合は、ドアのロック状態の確認をお願いします。
- ※ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック(リロック)する機能

本機は車輛や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモータ焼損など車輛の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

工場出荷時

セル時間の設定 (設定には専門知識が必要です)

車にあった、セル時間を0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0秒の7段階から選択できます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

※ 工場出荷時は「1.0秒」に設定されています。

ポイント

オルタネータ線(白線)を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

設定値	設定音
0.7秒	ビッ
1.0秒	ビビッ
1.3秒	ビビビッ
1.5秒	ビビビビッ
2.0秒	ビー
3.0秒	ビービッ
5.0秒	ビービビッ

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を2/10/15/20/30分の5段階から選択できます。

※ 工場出荷時は「10分」に設定されています。

設定値	設定音
2分	ビッ
10分	ビッ
15分	ビビビッ
20分	ビビビビッ
30分	ビー

グロー時間の設定

リモコンからの電波を受信後、セルモータを回すまでの時間を2.0/3.0/5.0/7.0/10.0秒の5段階から選択できます。一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。

※ 工場出荷時は「5.0秒」に設定されています。

ご注意

グロー時間を7.0秒、10.0秒を選択した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

設定値	設定音
2.0秒	ビッ
3.0秒	ビッ
5.0秒	ビビビッ
7.0秒	ビビビビッ
10.0秒	ビー

ターボタイマー機能のON/OFF設定

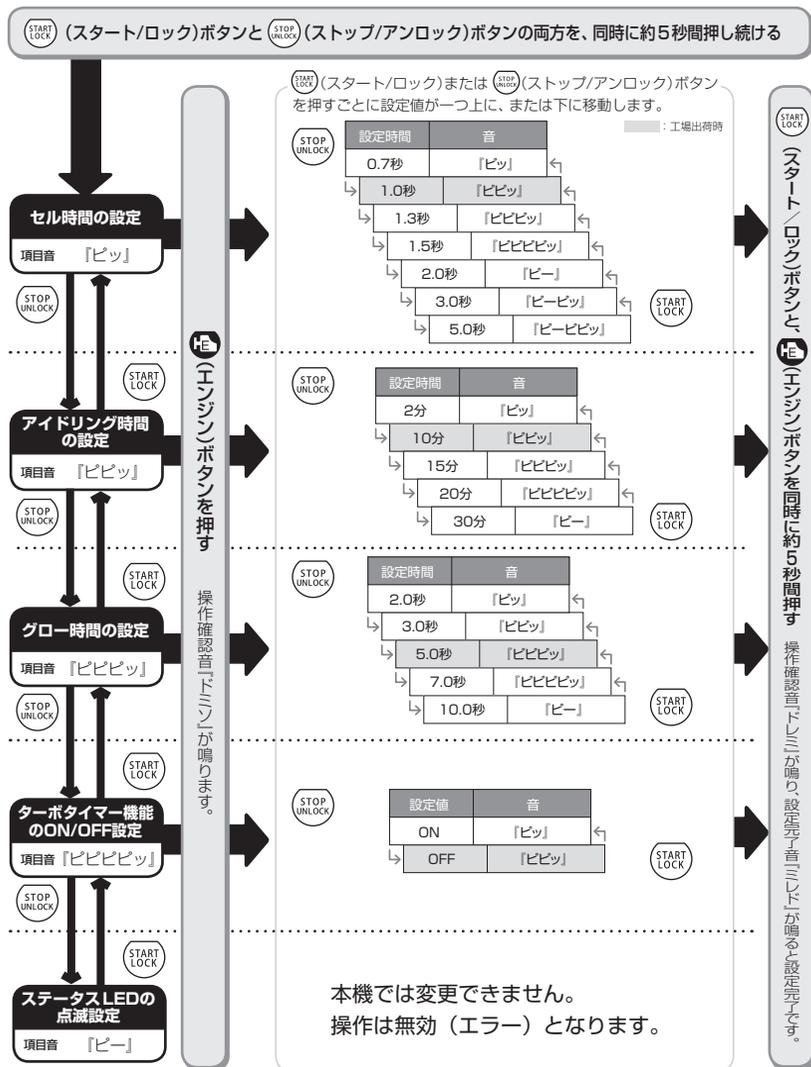
ターボタイマー機能のON/OFFが設定できます。

※ 工場出荷時は「OFF」に設定されています。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

設定値	設定音
ON	ビッ
OFF	ビッ



本機では変更できません。
操作は無効(エラー)となります。

ご注意

- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。
- 本設定は、アンテナを引き伸ばした状態で行ってください。

本機は一部の特殊な車輛でご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモータ焼損など車輛の走行に支障をきたす場合があります。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

工場出荷時

設定手順は
▶ 18 ページ

セルモータ停止タイミング検出方法選択(設定には専門知識が必要です)

セルモータ停止タイミングの検出方法を選択できます。セル時間を設定してもセルモータの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモータの引きずりが無い場合は、設定変更しなくても構いません。工場出荷時は「オルタネータ検出」に設定されています。

設定値	設定音
電圧検出	「ブツ」
オルタネータ検出	「ブブツ」
検出しない	「ブブツ」

ポイント

工場出荷時の設定（「オルタネータ検出」を選択）をしている場合で、オルタネータ線が接続されていないときは、セル時間（▶ 14 ページ「セル時間の設定」）で、セルモータを停止します。

ご注意

一部の車輛ではセルモータ停止タイミング検出を「電圧検出」に設定しても、セルモータの引きずりを改善できない場合があります。このような場合は設定を「オルタネータ検出」に戻して、オルタネータ配線を行ってください。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

始動判定方法選択

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。エンジンが正常に始動したにもかかわらず、1分程度で停止してしまう場合に、設定を「特殊判定」に変更してご使用ください。

※ 工場出荷時は「通常」に設定されています。

設定値	設定音
「通常」 エンジン始動後のバッテリー電圧の上昇を基準に、エンジン始動を判定します。	「ブツ」
「特殊判定」 エンジン始動の判定を特殊モードで判定します。	「ブブツ」

ご注意

特殊判定を選択したときは、エンジンの始動ができなかった場合でもアクセサリ電源などを停止状態（電源をOFF）にならない場合がありますので、頻りにエンジンが始動しない状態が続く場合は、車輛のバッテリー上がりにご注意ください。

IG 設定(設定には専門知識が必要です)

一部の車輛において、工場出荷時の状態で使用すると、本機によるエンジン始動ができない場合があります。車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車輛のみ、設定値を変更してください。上記以外の車輛では設定を変更しないでください。

※ 工場出荷時は「IG1+IG2」に設定されています。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

設定値	設定音
IG1	「ブツ」
IG2	「ブブツ」
IG1 + IG2	「ブブブツ」

リトライ設定

1回でエンジン始動できなかったときに、再始動（リトライ）を自動的に2回まで行います。

※ 工場出荷時は「リトライする」に設定されています。

メモ

一部のプッシュスタート車は「リトライしない」で固定され、変更できません。

設定値	設定音
リトライする	「ブツ」
リトライしない	「ブブツ」

エンジンスターター特殊制御の設定(設定には専門知識が必要です)

一部の車輛において、工場出荷時の状態で使用すると、本機によるエンジン始動ができない場合があります。車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車輛のみ、設定を「OFF」に変更してください。上記以外の車輛では設定を変更しないでください。

※ 工場出荷時は「ON」に設定されています。

メモ

一部のプッシュスタート車は「OFF」で固定され、変更できません。

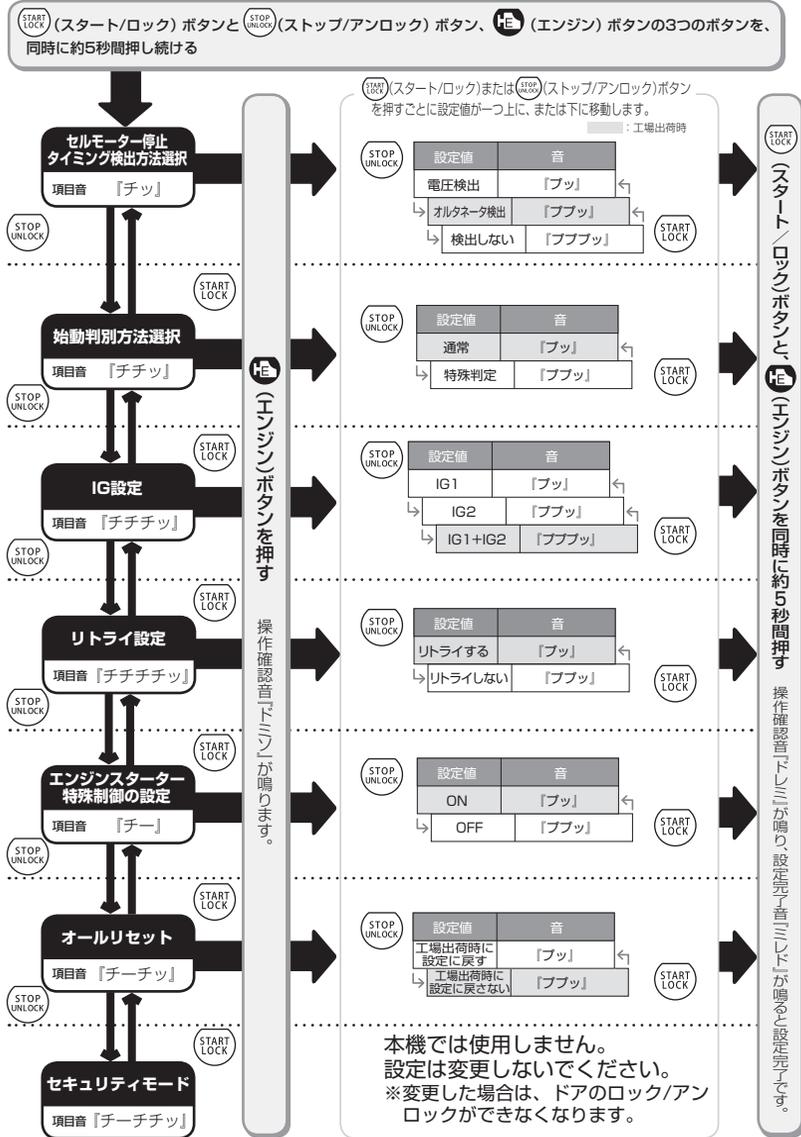
設定値	設定音
「ON」	「ブツ」
「OFF」	「ブブツ」

オールリセット

エンジンスターターの設定（▶ 14～18 ページ）をすべて工場出荷時の設定に戻します。

設定値	設定音
工場出荷時に設定を戻す	「ブツ」
工場出荷時に設定を戻さない	「ブブツ」

エンジンスターターの設定



本機では使用しません。
設定は変更しないでください。
※変更した場合は、ドアのロック/アンロックができなくなります。

ご注意

- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。
- 本設定は、アンテナを引き伸ばした状態で行ってください。

ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドルを自動的に行う機能です。
なお、本機はこのターボタイマー機能を使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。
アフターアイドルの時間はオート方式です。

ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能は、パーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作を開始し、キーを抜いたあと、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。

ただし、P・ポジション検出ができない車種でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

※ターボタイマー機能は、動作開始から約1分後にACC電源がONになる仕様となっております。ターボタイマー作動のキッカケとして、キーOFF時に一度、ACCがOFFになりますが、車本来の動作とするため、ACC電源を再度ONに戻しています。

ターボタイマー機能の設定

本書「エンジンスターターの設定」でターボタイマー機能のON/OFFを設定できます。(14ページ「ターボタイマー機能の設定」)

ターボタイマー機能を使用する

ターボタイマー機能をONに設定し、シフトレバーをパーキング(P)またはニュートラル(N)にすると、自動的にアフターアイドル動作を開始します。

※アフターアイドル中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。

※給油等でアフターアイドルが必要ないときは、リモコンでエンジンを停止するか、フットブレーキを踏んで、いったんシフトレバーをDまたはRの位置にすると、エンジンを停止させることができます。

オート方式のアフターアイドル時間

走行時間に合わせて、アフターアイドルの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフターアイドル時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※走行時間は、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外の位置に移動している時間をカウントしています。

※ターボタイマー機能のアフターアイドル時間は、シフトレバーをパーキング(P)に移動した時点から開始します。

注意

ご使用になる車種により、まれに正常にはたらかないことがあります。このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。

※カーラジオのON/OFFに連動して、アンテナが昇降する車では、ターボタイマーがはたらかないことがあります。

車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っている場合

バッテリー上がりやバッテリー交換、車種別専用ハーネスの取りはずし等で常時電源が断たれた場合は、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ...』が鳴り、P・ポジションの設定がリセットされたことを知らせます。

※ P・ポジションがリセットされると、リモコン操作がエラーとなり、本機によるエンジン始動ができません。

車のバッテリー交換やバッテリー上がり、エンジンスターターを付け替えた場合は、下記の手順で P・ポジション検出を行ってください。

P・ポジション検出の設定手順

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ...』音が鳴っている状態で、以下の手順で設定を行ってください。

※ 設定をやり直す場合は、「車種別専用ハーネスの抜き差し」や「バッテリー マイナス端子の脱着」を行ってから、下記の手順で再設定を行ってください。

1 シフトレバーがパーキング(P)になっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したまま、エンジンキー（エンジンスイッチ）を OFF → ACC → ON と切り替える

ジャンクションユニットからの『ピピピッ ピピピッ ピピピッ...』音が止まります。

※ ブレーキペダルを踏んだままエンジンキーを ON にすると、正しく設定できないことがあります。



(バッテリー交換やバッテリー上がり、本体移設後の操作)

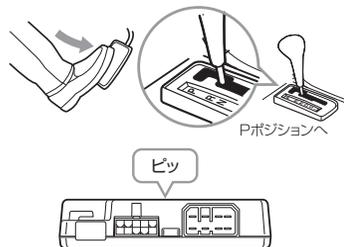
2 ブレーキペダルを踏み込み、確認音『ピッ』が鳴るか確認する

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴らなかった場合

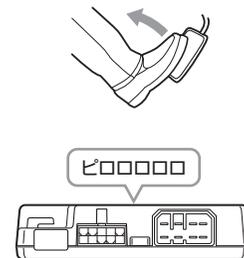
ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴った場合

ブレーキ検出線が接続されています。次のように操作してください。

3 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング(P)からリバース(R)に切り替える
約3秒後に確認音『ピッ』が鳴ります。



3 ブレーキペダルから足を離す
確認音『ピロoooo』が鳴ります。



4 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング(P)に戻す
『ピー』音または『ピロoooo』音が鳴ります。

以上で設定完了です。

エンジンキー（エンジンスイッチ）を OFF に戻し『ピピピッ ピピピッ ピピピッ...』音が鳴らないことを確認してください。

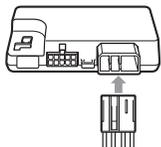
リモコンの登録方法

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。

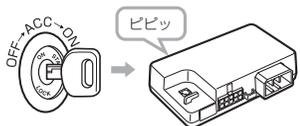
※ リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。

付属のリモコンは、登録する必要はございません。そのままご使用いただけます。

- 1 ジャンクションユニットからコネクター 1 をはずし、再度接続する「ピピピッ ピピピッ ピピピッ」と確認音が連続して鳴ります。



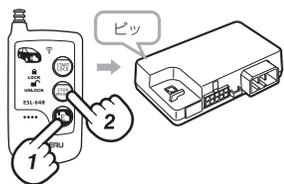
- 2 キーを差し込んで OFF → ACC → ON と切り替える
ジャンクションユニットから約 3 秒後に「ピピッ」と鳴ります。



- 3 「ピピッ」と鳴ってから 20 秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作 (P ボタンを押しアンテナマークが点滅中に (STOP) ボタンを押す) を行う

ジャンクションユニットから「ピッ」と鳴ります。

リモコンからはエラー音「ビー」が鳴ります。



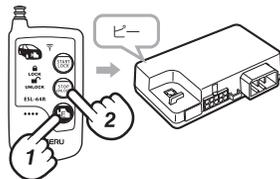
※ ジャンクションユニットから「ピッ」と鳴らないときは、キーを OFF にして再度 2 の操作からやり直してください。

- 4 10 秒以内に再度エンジン停止操作 (P ボタンを押しアンテナマークが点滅中に (STOP) ボタンを押す) を行う

ジャンクションユニットから「ビー」と鳴り、登録完了となります。

リモコンからはエラー音「ビー」が鳴ります。

※ ジャンクションユニットから「ビー」と鳴らないときは、キーを OFF にして再度 2 の操作からやり直してください。



- 5 ON → ACC → OFF と切り替えキーを抜く



リモコン登録後、続けて P・ポジション検出 (P 20 ページ) を行ってください。

電池交換のしかた

本機リモコンには工場出荷時、電池を装着してありますが、この電池はモニター用の電池で記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。電池を交換する場合は下記手順で電池を交換してください。

なお、電池交換中は車輛周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には十分に注意してください。

●電池の交換時期について

リモコン操作できる距離が短くなったら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

●電池寿命の目安

約 1 年を目安に新しい電池 (CR2032 2 個) と交換してください。

ご注意

- 電池の寿命は使用する条件によって異なります。
- 指定の電池 (CR2032) 以外は使用しないでください。
- 交換するときは、必ず 2 つとも新しい電池と取り替えてください。
- また、交換時には電池の向きを間違えないようご注意ください。

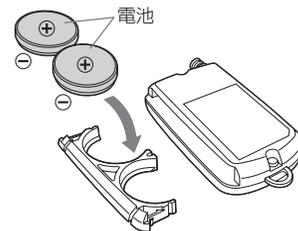
警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

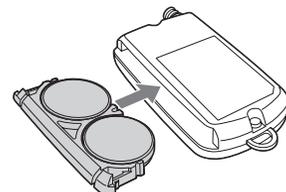
- 1 バッテリーケースの両端を押しながら引き出す



- 2 電池 (CR2032) を入れ替える



- 3 バッテリーケースをリモコン本体から「カチッ」と鳴るまで差し込む



※ 本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

スリープ機能について

車を使用しない状態が 14 日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能がはたらきます。

スリープ機能がはたらくと、本機によるエンジン始動はできません。

スリープ機能を解除するときは、一度、車輛本来の操作（キー操作など）でエンジンを始動させてください。

本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。



車のバッテリーとエンジン始動の関係

車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地などで始動判定方法選択 (18 ページ) を [特殊判定] に変更しても、再始動を繰り返す場合は、オルタネータ線 (白線) の接続が必要です。
- 車のバッテリー交換を行った場合は、再度 P ・ ポジション検出 (20 ページ) が必要です。

始動エラー音について

本機によるエンジンスタートやターボタイマー機能が動作しない場合は、エンジン始動失敗後にジャンクションユニットから鳴る音 (エラー音) により、不具合状況を確認できます。エンジン始動失敗後、次にエンジン始動操作を行うまでの間は、リモコンの **RECALL** ボタンの 2 度押し (エンジンの状態確認操作) を行うことで、ジャンクションユニットからもう一度、エラー音を鳴らすことができ、不具合状況を確認できます。

本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社でご相談窓口にお問い合わせください。

エラー音	不具合の検出
ビビビッ ビビビッ ビビビッ	P ポジションの検出ができていません。(20 ~ 21 ページ)
ピー ピー	エンジンスタート動作中断時 P ・ ポジション検出
ピー ピー ピー	エンジンスタート動作中断時 ブレーキ検出
ピー ピー ピー ピー	エンジンスタート動作中断時 ドア検出
ピー ピー	エンジンスタート動作中断時 電圧異常
ピー ピー ピー	エンジンスタート動作中断時 オルタネータ異常
ビビビッ ビ	キー飛び込み検出
ピー ピー ビビビ	エンスト検出
ピー ピー ピー	エンジン始動異常
ビビビッ	ターボタイマー動作中断時溶着検出

セット内容

■同梱品

- リモコン(1)
※ リモコン用電池 CR2032(2)は内蔵されています。
- センサーハーネス(1)
- エレクトロタップ(2)
- タイラップ(1)
- 保護シート(1)
- ジャンクションユニット(1)
- ご注意ステッカーシート(1)
- 取付・接続説明書(1)
- 取扱説明書／保証書(本書)

■オプション品

※ オプション品については、予告なく仕様を変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

- キーレスエントリー A-17SF
本機のリモコンでロック／アンロックができます。
※ 別売のアダプターなどが必要となる場合があります。
- ドアミラーコントローラ A-35SF
本機リモコンでのドアロック／アンロック操作でドアミラーの開閉ができます。
※ 適応車種限定
- ハザード制御 A-18SF
本機リモコンでのエンジン始動時にハザードランプを 3 回、ロック／アンロック時にハザードランプを 1 回 / 2 回点滅させ、お知らせします。
- コンライトキャンセル機能 A-60
オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯させます。
※ 一部の車輛では正常にはたらかない場合があります。

紛失等による付属品の追加購入やオプション品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

仕様

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	400MHz 帯
送信出力	5mW 以下
使用電池	リチウム電池 CR2032 × 2
動作温度範囲	- 10℃ ~ + 50℃
寸法	30(W) × 54(H) × 13(D)mm (突起部含まず)
重量	約 23g(電池含む)

■ジャンクションユニット

送受信周波数	400MHz 帯
電源電圧	12V 車専用(DC9 ~ 16V)
送信出力	10mW 以下
消費電流	スリープ時：約 5mA 以下 待機時：約 13mA 以下(平均)
動作温度範囲	- 20℃ ~ + 80℃
寸法	111(W) × 26(H) × 61(D)mm (突起部含まず)
重量	105g

その他

こんなときは

修理をご依頼になる前に、もう 1 度次のことをご確認ください。

症状	チェック項目	実施項目
操作ボタンを押してもリモコンから「ピッ」が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消費していませんか？ 電池が正しく入っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい電池と交換してください。 正しく電池をセットしてください。(● 23 ページ)
リモコン操作でエンジンが始動または停止できない	<ul style="list-style-type: none"> スリープ機能がはたらいっていませんか？(● 24 ページ) シフトレバーがパーキング (P) ポジションになっていますか？ ヒューズが切れていませんか？ エンジンスターターの設定が正しく設定されていますか？ P・ポジション検出ができていますか？ 車と離れすぎではありませんか？ 車のバッテリーが弱っていませんか？ キー操作でエンジンが始動しますか？ キーでエンジンを始動していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 一度キーでエンジンをかけてください。 シフトレバーをパーキング (P) ポジションにしてください。 車種別専用ハーネスのヒューズを確認してください。 正しく設定してください。(● 14～18 ページ「エンジンスターターの設定」) 一部の車輛では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたは P・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。(接続しないと、本機は動作しません) 電波の届く範囲内で操作を行ってください。 バッテリーを充電するか、新品と交換してください。バッテリーを交換した場合には、P・ポジション検出が必要です。 車の点検をしてください。 キーでエンジンを停止してから行ってください。
リモコン操作がエラーになる	<ul style="list-style-type: none"> 車内で「ピピピッ ピピピッ」音が鳴っていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> P・ポジション検出を行ってください。(● 20～21 ページ「車内で「ピピピッ ピピピッ」音が鳴っている場合」)
リモコン操作できる距離が短い	<ul style="list-style-type: none"> リモコンのアンテナに手を触れていませんか？ リモコンの電池が消費していませんか？ 車とリモコンの間に、障害物がありますか？ リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナに手を触れないで操作を行ってください。 新しい電池と交換してください。 障害物のない場所から操作を行ってください。 アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのこと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から 3 年間で。
(リモコンは 1 年、電池等消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

「こんなときは」(● 26 ページ)をよくお読みください。それでも症状の改善がないときは、故障状況なるべく詳しくご連絡ください。
※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
※ リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

故障相談や修理のご依頼、付属品の購入や販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:30 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL.(011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北 8 条西 18 丁目 35-100 エアリービル 1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL.(022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 4-8-6 第 2 喜和ビル 1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL.(03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦 4-12-33 芝浦新本ビル 3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL.(0564)66-8411 〒444-2144 愛知県岡崎市岩津町榎ノ上 3
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知・鳥取・島根・岡山・広島・山口	大阪営業所・サービス部 TEL.(06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町 53-10
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL.(092)552-5351 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野 2-3-4-2F

取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00～17:30 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター TEL.(0564)45-6515

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。